

10. 18 集会決議

9月18日、安倍政権は戦争関連法案の強行採決を行った。私たちは、この暴挙を満腔の怒りをもって弾劾する。巨万人民による成立反対の声を無視して可決された法制案は無効である。安倍政権は戦争法案を即刻撤回せよ！

私たちは戦争法案をアジア人民の闘いに敵対するものとして絶対に許すことはできない。韓国民衆による「(戦争法制は) 新たな侵略戦争策動だ」という批判は、全てのアジア人民の声である。安倍政権は日米軍事一体化をもって、本格的侵略戦争国家体制を作り上げようとしている。今こそ、国際主義の旗を掲げた反戦運動の前進が求められる時はない。

私たちは「アジアからの米軍総撤収」を掲げるAWCのスローガンに則り、米軍再編との闘いを推進する。そしてこの闘いは日米軍事一体化を飛躍的に強化しようとする安倍政打倒の闘いであり、戦争法案反対一反戦運動と一体の闘いでもある。

私たちはかかる観点から辺野古新基地建設阻止を闘う。翁長知事による辺野古沖埋め立て承認取り消しの決断により闘いは、沖縄と安倍政権による全面的闘いに入った。私たちは翁長知事の決断を断固支持し、沖縄人民と結合した現地闘争を闘う。

岩国は米軍再編の要として基地の大強化が目論まれている。これに対して岩国市民の粘り強い闘いが継続されている。私たちは岩国における市民規模の反基地闘争と連帯し、岩国基地強化反対の闘いを推し進める。岩国基地の米軍住宅建設を許すな！ 2017年F35ステルス戦闘機の配備を許してはならない。

そして2017年には、東京―横田基地にオスプレイが配備されようとしている。さらに原子力空母ロナルドレーガン寄港が強行された神奈川では、相模湾での自衛隊観艦式においてMV22オスプレイの飛行が計画されている。

「アジアからの米軍総撤収」はアジア規模の闘いのスローガンである。私たちはこのスローガンを掲げた11月28・29日の岩国行動に断固として結集し、アジア各国人民とともに米軍再編と闘う。沖縄―岩国―神奈川―横田の闘いを結合し米軍総撤収を勝ち取ろう。反戦闘争と一体の課題として米軍再編を闘い、戦争法案を弾劾する闘いをさらに推進していこう。本集会に参加されたみなさん！ 岩国で再会しよう！

以上決議する。

2015年10月18日 集会参加者一同